北海道女性研究者の会

入会のおさそい

1975年の国際婦人年を契機とした学術会議の女性研究者問題への取り組みに応え、北海道でも、第1回婦人研究者連絡会（当時仮称）が持たれました。以来、北海道婦人研究者連絡会として、年に数回の集まりや名簿の作成、通信の発行などを行ってきました。1999年には「改正男女雇用機会均等法」と「男女共同参画社会基本法」が施行され、法的な整備が進みました。その結果、女性研究者の数の増加や就労の機会が拡大された分野がある一方で、ジェンダーバッシングなどの逆風が強くなっているという声も耳にします。現実的には女性研究者の数はまだまだ少なく、女性研究者が全分野で1～2割を占めるという目標の実現はまだ先のようです。

女性研究者問題は、研究者としての問題の他に、就職や昇格における女性労働者としての問題が重なっており、研究者としての成長および自立なども含め、多くの課題が山積みされています。これらのほとんどは根本的には社会的解決が必要ですが、私たち自身も力を合わせて問題解決の方向を様々な角度から考えてみることも重要でしょう。

ともすれば視野が狭くなりがちな状況の中で、お互いに経験を交流し、励まし合いながら、研究や就職などに関する問題について解決の道筋を共に探っていきませんか。ひとりで悩んでおられる方、どうぞ気軽に会の扉をたたいてみてください。間口は広く、敷居は低く、をモットーにお待ちしています。

（「北海道婦人研究者連絡会」は1996年に改称し、現在の「北海道女性研究者の会」になりました）

北海道女性研究者の会

＜規約＞

【目的および活動】

1. 全道の女性研究者の交流と啓発をはかり、女性研究者の研究生活条件の整備・改善に努力します。
2. 国内外の女性研究者とネットワークを形成し、女性研究者が抱える問題の解決と地位向上を目指します。
3. 数名の世話人をおき、通信の発行および各種会合を持ちます。

【入会資格】

研究者はもちろん、研究者をめざす方、かつて研究者であった方、研究的な仕事をしている方、研究と関わっていきたいと思っている方、通信を読みたい方、また女性研究者問題に関心のある方、等々を広く含めます。男性でも関心のある方は入会できます。入会はいつでも受け付けています。入会金はありません。

【年会費】

職を持っている方：2,000 円

そうでない方　　：1,000 円

（職を持っているという定義は個人におまかせします）

通信会員　　：700 円

＜活動＞

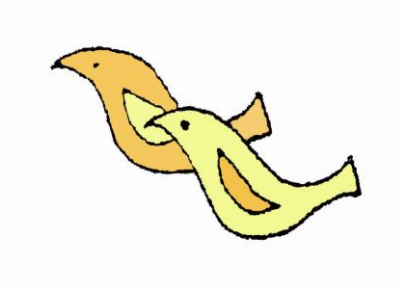
・総　会　：　年1回

・会報の発行：年１回

　北海道女性研究者の会、通信として

・例会講演会：年１回

・その他



（1996年6月の総会で婦人を女性に名称変更し、さらに2005年に、発足当初のしおりをもとに、多少変更を加えたものです）

＜最近の講演会＞

1996.11　オンブズマン制度:大学教員−学生関係を
　再検討する　… 相内俊一
1997. 9　20 周年記念パネルディスカッション
「研究はおもしろい−さまざまな研究の立場から」
… 森美和子、岡田淳子、広瀬玲子、
赤石美奈、澤田美智子、神力就子
1998. 3　核酸の化学と生化学の間で　… 大塚栄子
2000. 7　セクハラ・フリーのキャンパスをめざして
… 西堀ゆり
性犯罪の裁かれ方　… 岡田久美子
2002. 8　退職というひとつの節を過ぎて思う事など
… 落合滋子
2003. 8　堀内寿郎先生、松原純子さん、燃料電池実用化
の流れ、そして最近の科学的らしい言葉の反乱
… 荒又明子
2004. 9　諦めないで、焦らないで、歩み続けて
… 布施晶子
2005. 8　アラスカ調査のフィナーレ、東南アラカ・アネット島
の開発　… 岡田淳子
2006. 8　「わかるからできる」健康行動理論をめざして
… 森谷　絜
2007. 8　30 周年記念パネルディスカッション
「女性研究者の過去・いま・未来」
パネリスト:有賀早苗、石井智美、岡田淳子
2008. 8　私立短大で 40 年　研究と教育　… 石村　櫻
感染症のダイナミクス　… 鷲見　紋子
2009. 8　専門ゼミ生と取り組む知的障がいをかかえる
子どもの学習ツール開発　… 新國三千代
モンゴル遊牧民の食の現在　… 石井　智美
2010. 9　『公衆衛生の研究を続けて30余年−
北海道大学・環境健康化学センターの設立の
意味とこれからの活動の抱負』　… 岸　玲子
2011.12　明るくすこやかな生活を送るためのビタミン物語
… 山田惠子
2012.9　刑事裁判における性犯罪の認定　… 岡田久美子
2013.9　リスクの心理学　-リスクをどうとらえ、どう
つきあっていくか−　… 増地あゆみ
2014.10 中国朝鮮族の民族誌 − 人の移動と婚礼儀式の
変化　… 小坂みゆき
2015.11 「北海道女性研究者の会」40 周年記念ジョイント・
シンポジウム　今までの大学、これからの大学
パネリスト:笹谷春美、相内眞子、望月恒子
2016.11 四季の変化に対応するミツバチ大家族… 山舗直子
2017.11 音楽療法の歴史・その実践によって得られる効果
−音楽の楽しさから見えてくるもの−　… 関谷正子
2018.11 動物の色をめぐる2つのなぜ　WHY？と HOW？
−存在理由と体色発現の仕組み−　… 宮下洋子

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

世話人会　（五十音順）

共同　代表:新國三千代（元札幌学院大学）
nikkuni@sgu.ac.jp
森谷　絜（北海道大学名誉教授）
cbrgx939@ybb.ne.jp
共同副代表:石井　智美(酪農学園大学)
ishii@rakuno.ac.jp
増地あゆみ（北海学園大学）:
masuchi@ba.hokkai-s-u.ac.jp
小坂みゆき（北海道大学）mk291@let.hokudai.ac.jp
岡田久美子（札幌学院大学）okadakum@sgu.ac.jp
山舗　直子（元酪農学園大学）yamasiki@rakuno.ac.jp
山田　惠子（元札幌医科大学）oyama@sapmed.ac.jp

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

郵便振替口座番号:02780-1-41503
名称:北海道女性研究者の会

北海道
女性研究者の会

The Hokkaido Association of
Women Researchers

−入会のご案内−

ホームページ: **http://hw-rscher.sblo.jp/**

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

世話人会代表メール
hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp